

令和3年度

熊本県立技術短期大学校

推薦入学(前期)試験問題

数学 I

【受験上の注意】

- 1 「解答始め」の合図があるまでは、問題用紙・解答用紙を開かないこと。
- 2 「解答始め」の合図があったら、まず問題用紙・解答用紙の枚数の過不足を確かめること。
- 3 次に、所定の位置に受験番号を記入すること。
- 4 印刷不明、トイレ等の場合は、静かに手を上げて試験監督者に合図し、指示を受けること。
- 5 「解答やめ」の合図があったら、直ちに鉛筆を置き解答を止めること。
- 6 受験中に机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、時計(時計機能だけのもの)及びメガネのみとする。
- 7 計算機能をもつ機器並びに音を発する機器の使用は禁止する。
- 8 携帯電話の電源は切っておくこと。

- [1] (1) $\frac{2\sqrt{2}-3\sqrt{3}}{\sqrt{2}-\sqrt{3}} = \boxed{\text{ア}} + \sqrt{\boxed{\text{イ}}}$ である。ただし、 $\boxed{\text{ア}}$ 、 $\boxed{\text{イ}}$ は整数とする。
- (2) $U = \{1, 2, 3, 4, 5\}$ を全体集合とし、 A, B をその部分集合とする。 $A \cap B = \{1\}$, $A \cap \bar{B} = \{2\}$, $\bar{A} \cap \bar{B} = \{4\}$ のとき、 $A = \{\boxed{\text{ウ}}\}$, $B = \{\boxed{\text{エ}}\}$ である。
- (3) 頂点が $(-2, 1)$ の放物線が点 $(1, -2)$ を通るとき、放物線の方程式の x^2 の係数は $\boxed{\text{オ}}$ であり、放物線と x 軸の2つの交点の x 座標のうち -2 と 1 の間にあるのは $\boxed{\text{カ}}$ である。
- (4) 次の式の値を求めよ。

$$\sin 75^\circ + \cos 165^\circ = \boxed{\text{キ}}, \quad \cos 135^\circ \times \tan 150^\circ = \boxed{\text{ク}}$$

- (5) $a < b$ とする。データ $a, b, 1, 3$ の平均値が 5 、中央値が 4 であれば、 $a = \boxed{\text{ケ}}$, $b = \boxed{\text{コ}}$ である。

- [2] (1) $a < 2\sqrt{5} < a + 1$ を満たす整数 a の値は $\boxed{\text{サ}}$ である。このとき、 $\frac{1}{2\sqrt{5}-a}$ の分母を有理化すると $\boxed{\text{シ}}$ である。
- (2) a, b は定数とし、 $a > 0$ とする。関数 $y = ax^2 - 4ax + b$ ($0 \leq x \leq 3$) の最大値が 5 、最小値が -3 であるとき、 $a = \boxed{\text{ス}}$, $b = \boxed{\text{セ}}$ である。
- (3) 2次方程式 $x^2 - 2x + a = 0$ が異なる2つの実数解をもつとき、定数 a の値の範囲は $a < \boxed{\text{ソ}}$ である。更に、2つの解の差が 4 であるとき、 $a = \boxed{\text{タ}}$ である。
- (4) $AB = 5\sqrt{3}$, $AC = 2$, $\angle A = 30^\circ$ の $\triangle ABC$ について、 $BC = \boxed{\text{チ}}$ であり、外接円の半径 R は $R = \boxed{\text{ツ}}$ である。
- (5) データ $a, a, a, 1-a, 1-a, 1-a$ の分散を s^2 とする。 $s^2 < \frac{1}{4}$ であるとき、 a の値の範囲は、 $\boxed{\text{テ}} < a < \boxed{\text{ト}}$ である。

- [3] 連立不等式

$$7x - 10 \leq x^2 \leq x + 12$$

を解くと、 $\boxed{\text{ナ}} \leq x \leq \boxed{\text{ニ}}$ である。この範囲の x に対して、 $x^2 - 6x - a^2 + 10 \geq 0$ が成り立つとき、定数 a の値の範囲は、 $\boxed{\text{ヌ}} \leq a \leq \boxed{\text{ネ}}$ である。

- [4] $AB = 8, BC = 7, AC = 3$ の $\triangle ABC$ について、 $\angle A = \boxed{\text{ノ}}^\circ$ であり、 $\triangle ABC$ の面積は $\boxed{\text{ハ}}$ である。 $\angle A$ を二等分する直線と辺 BC の交点を D とするとき、 $\triangle ABD$ の面積は $\boxed{\text{ヒ}}$ であり、 $AD = \boxed{\text{フ}}$ となる。